

藤沢

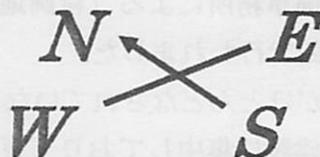
エコネット

2012年9月1日

第220号

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



- 主 事：・原水禁大会 2012 参加
- な 記：・堆肥化施設臭気問題で県が停止勧告
- 事：・放射能検査 ・武田問題対策連絡会
- 事：・村岡新駅計画説明会

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

勇気と希望のふくらむ「原水爆禁止 2012 世界大会」

「広島に行くなら夏、そして8月6日の朝をそこで迎えたい」との長年の夢が原水爆禁止世界大会参加という形でかなう機会をいただき、初めての広島に行ってまいりました。

大会は21ヶ国から62名のNGOや政府、国際機関の代表はじめ、7200人が参加し、各国の草の根と自治体・政府・国連が、核兵器禁止条約の交渉開始を求め核兵器廃絶はもちろん、米軍基地いらない、原発いらない、原子力空母いらない、など平和で安全な市民のくらしを求める各地の情勢ととりくみを交渉し、大いに盛り上がり勇気と希望のふくらむ大会でした。

国連に提出された「核兵器全面禁止のアピール」国際署名も210万を超えたことが報告され、着々と増え、積み上げられていく世界からの1人1人の市民の思いが、国連の会議に訪れる各国代表の心を動かす大きな力になることを信じ、ひき続き署名運動に取り組みたいと思いました。

2日目のシンポジウム「核兵器・原発・私たちの未来」では福島原発事故の後、2022年までにすべての原発の廃炉を決めたドイツから来たピーター・ベッカーさん（国際反核法律家協会共同議長）の話に興味深く聞きました。

「脱原発の成功に至るには30年にわたる反核運動・政治的運動の一進一退の地道な道のりがあったこと、カギとなったのは「国民的な脱原発運動と専門家たちの科学的根拠の提示、それを実践させる政治勢力だ」ということと、福島事故により首相の命令で倫理委員会が設立され、政治家・科学者・宗教者などが集まり政治に「倫理」を導入して完結したことを聞き、やはり利潤や経済効果ばかり求めるエネルギー政策を変えていくには、どんな未来を選ぶか哲学・倫理の観点から議論し社会の価値観を見直す方向性を強く求めていかなければ！！と思いました。

暑い夏、熱い広島での体験を活かしていきたい。
夏の課題はまだまだ続きます。

(柿本まどか)

小出川の彼岸花



村岡地区まちづくり整備計画説明会

村岡地区整備事務所による「村岡地区まちづくり整備計画」説明会が8月4日、村岡地区の、宮前町内会館と村岡公民館で行われました。

事前の周知がほとんどなされていないため、参加者は著しく少なかったです。

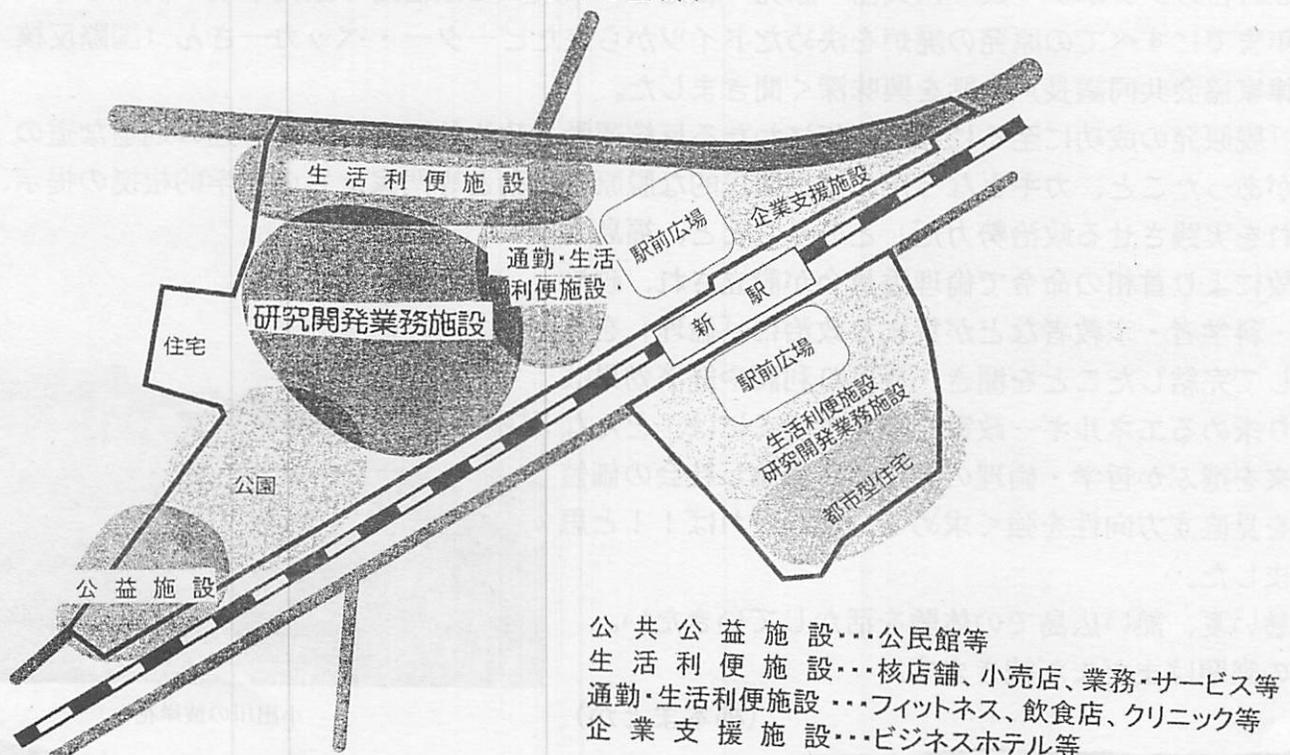
質問は新駅建設に集中しており「東海道本線の藤沢駅と大船駅に挟まれたわずか3 kmの間の駅建設による新駅以西の列車遅延など利便性悪化をどのように検討されているのか」という質問に対し、事務所は「現在検討中です。」という答え「建設するのが良いか悪いかの判断材料が提供されていない状態で、説明を重ねても税金の無駄ではないか」という意見に対しても「住民に周知を優先している」と答弁するばかりでした。

また「市民の可処分所得がどんどん低下している時代に駅建設に150億円、周辺整備を含めると300億円を超える大型開発に前のめりになる必要はない。新駅問題は、貨物駅跡地の有効利用の根岸線延長が原点であり、その線で検討すれば新駅以西の問題も起きないので、十分な時間をかけて検討するべきだ」という意見もだされました。(安楽菊男)

☆電子会議室に寄せられたご意見には、以下のような内容がありました。

- ・そもそも新駅建設にするメリットが無く反対。
- ・村岡にある空き地をどうにか使えないか？の問題意識はあるが、新駅とワンセットは反対、橋の架け替えや地下道の整備を早急にやるべき。
- ・鎌倉市側はJR東日本車両センターの土地の取得やその後のまちづくりの開発基本計画を策定するなど具体的取り組みが見えるようになっているが、藤沢市はH20年度の計画書告知以降、具体的内容が開示されていない、進み具合が不明。
- ・昨年度のJRの資料を見たが藤沢駅の利用者は10万人/日、大船駅で9.3万人/日であり新駅がこの両駅と同じくらいの利用者があるとの予測で、乗り入れ路線のない駅での9.3万人の利用者が見込めるとは考えにくい、試算をやり直して見る必要がある。

研究開発業務施設中心型(案)



藤沢市の堆肥化施設臭気問題で

県が停止勧告

市の堆肥化施設「藤沢市有機質資源再生センター」（宮原）から基準の2～3倍の臭気が検出され、8月7日に県政総合センターから畜ふんなどの受け入れ停止勧告を受けた。9月3日まで受け入れを停止している。基準が施設境界で臭気指数10未満のところ、31を測定した。

2006年、国・県の補助を受け、市税を投入して建設したとき、北部地域の迷惑施設と言われたり、畜ふんの大型堆肥化施設は必要ない等々、地元で反対運動がおこった施設である。その後は臭気が周辺地域で問題となり、市へ苦情が持ち込まれていた。

今年6月、脱臭装置改良検討を行い、700万円の補正予算がついて、停止勧告後改良をおこなっている。

運営方式はPFIという民間資本主導方式で「湘南エコファクトリーPFI(株)」が維持管理運営をしているが、ここで作られる堆肥が売れないため赤字経営が続いていて、昨年構成企業の奥村組が撤収し、現在「横須賀造園」が運営をしている。

畜ふんに、剪定枝と学校給食残渣とレストラン等の残渣を入れて発酵させ堆肥化している施設であるが、肝心の製品である堆肥が売れないという。

今後どうするかについては、地元から操業停止してほしいとの要望があり、検討した結果、地元への説明で、平成27年度（2015年度）を目標に操業停止の方向と聞く。9月市議会に提案される予定。

今までトラブルを度々起こし、その都度改善をおこなってきた。どれほどの税金を使ったろうか。2006年当時、国の方針に従って見通しなく始めた事業といえる。（青柳）



〈藤沢エコネットニュース220号〉

株主総会以降

武田薬品の市民に対する対応に変化

6月26日武田薬品工業の第136回定時株主総会が、大阪のホテルニューオオタニで開催された。

出席した株主は約4000名、第3会場まで設置された。長谷川社長の活動報告、剰余金処分案に対し、武田問題対策連絡会小林代表から湘南研究所の「遺伝子組換え排水漏えい事故再発防止に関する修正動議」が出された。

修正動議の内容は、昨年11月30日に発生した同研究所の遺伝子組換え排水漏えい事故の再発防止策として武田薬品から発表されたやり方が、1個600円程度のポリタンクをそれぞれの実験室に30個設置するという安易なやり方では遺伝子組換え実験排水の漏えいは防げないから、各実験室毎にオートクレーブ（高圧蒸気滅菌機）を設置し完全に滅菌せよ、そのための費用として90円の配当金の内1円を設備費に充てよ」と言うものである。

これに対し、武田薬品の長谷川社長から、事故を起こしたことを謝罪する答弁があったが、ポリタンク方式で、文科省から了解を得ているとして、動議の採決は行われなかったが、目下、外国の検査会社に、研究所全体の安全点検のチェックを依頼しているので、指摘があれば改善してゆきたいとの見解も示された。株主総会で、特に妨害も無く、約5分間、社長以下全役員、管理職、大勢の株主の前で湘南研究所の安全問題について発言できたことは、武田問題対策連絡会の運動としては大きな成果であった。

株主総会以降の武田薬品湘南研究所の市民に対する対応の変化として、これまでの武田窓口の市民との対話は、三者連絡会があるので市民とは直接話し合わないと言う態度だったが、先月の武田連絡会との話し合いで、チャップマン所長の支持で、「市民から申し入れがあればいつでも話し合います」との対応の変化が示された。藤沢市議会に対する安全協議会設置の請願は不採択となったが、直接武田との話し合いの道が開かれたことは、これまでの運動並びに株主総会での発言等の一定の成果であると思われる。

武田問題対策連絡会 小林麻須男

市民放射能測定値

今回は測定の線量計を変えて測定した結果をお知らせします

測定日 7月21日(土)小雨

測定器(ALOKA-TCS172B) : 90秒間の繰り返し3回の平均値 単位($\mu\text{Sv/h}$)

- ① 亀井野 宅地 : 0.06 (地上5cm)
- ② 亀井野 アパート : 0.12 (地上5cm)
- ③ 亀井野 住宅 : 0.07 (地上5cm 雨樋雨水落下点)

HORIBA RADI (市貸与) で測定 7/21

- ① 亀井野 お寺 : 0.07 (地上5cm 草むら)
- ② 天神町 谷戸 : 0.04 (地上5cm 草むら)

pipi (インフロー (株) 製) で測定

- ① 遠藤住宅屋内 0.10 $\mu\text{Sv/h}$ (8月25日)
- ② 鬼怒川温泉公園前屋内 0.19 $\mu\text{Sv/h}$ (8月26日)
- ③ 鬼怒川温泉公園前草むら 0.28 $\mu\text{Sv/h}$ (地上1m 8月26日)

◎市民のかたの測定結果をお知らせ下さい

いつ、どこで、天候、線量計の機種などを記録し、地上5cm 50cm 100cmのところを1分間ずつ3回はかり、平均をとります。各市民センターではHORIBAの計測器を貸し出ししています



ECONET INFORMATION

「原発卒業だヨ! 全員集合2012」

～未来へ歩こう湘南パレード～

日時 : 9/17 (祝) 15:20 集合 16:00 スタート
(少雨決行・荒天中止)

集合場所 : 奥田公園 (藤沢市民会館横)

コース : 奥田公園～藤沢駅南口～遊行寺

僕らは原発ゼロに向かって光の中を歩み続ける

光は広がり闇を照らし

すべてを包み込んで融合していく

NO NUKES ONE LOVE

お問合せ : イマジン湘南 ☎82-1702 古屋

みんなの消費生活展

「未来の生活と紅茶」磯淵猛さん講演・ワークショップ、イベントなど

9月8日(土) 10:00～17:00

9日(日)10:00-15:00 湘南台公民館

問合わせ/消費生活センター25-1111

「福島の花たちの想い」

未来につなげるたたかひの今」

武藤類子さんのお話を聴く

9月14日(金) 18:30～

三茶しゃれあど5Fオリオン (東急世田谷線三軒茶屋下車)

03-5313-1525 参加費800円

藤沢エコネットから

会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 7ジワエコネット

(従来の振込方法も利用できます)

会員募集=年会費・購読料→3000円

事務局会議 9月13日(木) 14:00～推進センター

《編集後記》原発事故後のエネルギー戦略について国は公聴会・討論・パブリックコメントで国民の意見を検証した結果「少なくとも過半数の国民は原発に依存しない社会の実現を望んでいる」と発表した。パブコメでは原発ゼロが9割近くあった。しかし2030年までに原発ゼロ実現は「半数程度が何らかの懸念を有している」と分析、原発輸出が進む中、先行不透明。(A)